

国見町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (27年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)24 年度の人件費率
25年度	人 9,800	千円 8,707,831	千円 298,731	千円 964,508	% 11.08	% 14.38

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

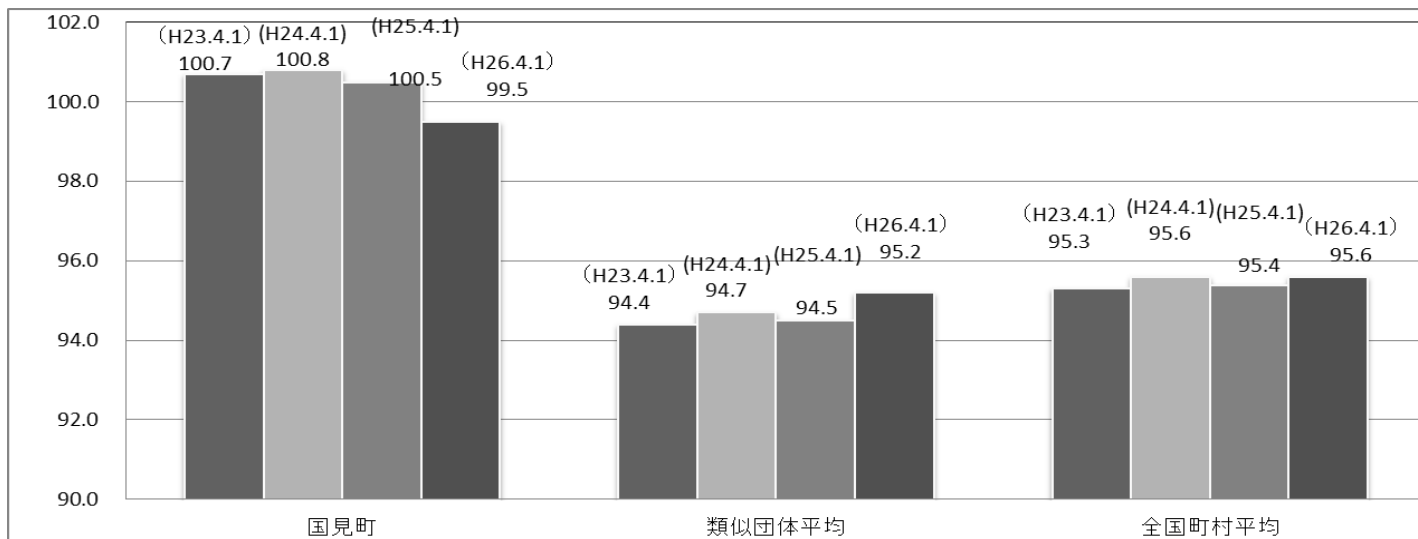
区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似 団体平均一人 当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
25年度	人 97	千円 342,497	千円 79,824	千円 124,090	千円 546,411	千円 5,633	千円 5,474

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、25年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

3 平成24年及び平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がない場合とした場合の値である。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

① 給料表の見直し

[**実施** 未実施]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均0.7%引下げ。激変緩和のため、5年間(平成32年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。
(平成27年4月1日実施)

(6) 特記事項

(給与減額の状況)

国見町では、平成20年4月1日から給料を級別に一定率の削減をしています。

- ・平成23年度：2級の職員1%減、3級の職員2%減、4級以上の職員3パーセント減
- ・平成24年度：2級の職員0.6%減、3級の職員1.3%減、4級以上の職員2%減
- ・平成25年度：3級の職員0.5%減、4級以上の職員1%減
- ・平成26年度：4級以上の職員0.5%減

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(26年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
国見町	39.6歳	311,900円	396,798円	335,228円
福島県	42.9歳	336,500円	420,082円	366,625円
国	43.5歳	335,000円	—	408,472円
類似団体	42.3歳	311,417円	355,415円	335,656円

(2) 職員の初任給の状況(26年4月1日現在)

区分		国見町	県	国
一般行政職	大学卒	183,500円	176,800円	172,200円
	高校卒	148,600円	144,200円	140,100円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（26年4月1日現在）

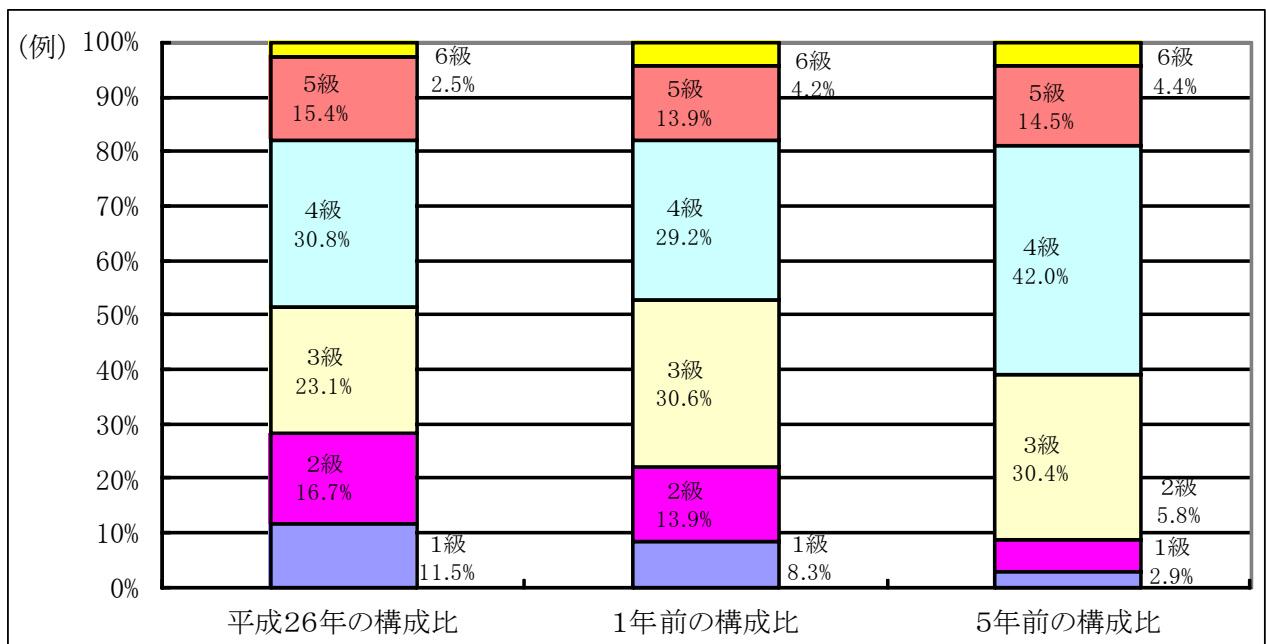
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	265,500円	369,300円	387,300円	401,200円
	高校卒	219,700円	313,500円	369,300円	387,300円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（26年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
1 級	主事	9 人	11.5 %	139,600 円	249,000 円
2 級	高度の知識又は経験を 必要とする主事	13 人	16.7 %	190,500 円	313,800 円
3 級	主査	18 人	23.1 %	227,800 円	361,500 円
4 級	主任主査	24 人	30.8 %	267,400 円	403,800 円
5 級	課長、主幹	12 人	15.4 %	295,200 円	416,100 円
6 級	総務課長、参事	2 人	2.5 %	326,900 円	438,400 円

- (注) 1 国見町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成19年に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

昇給日前1年間に係る勤務成績に応じ、良好である職員については、4号給（55歳を超える職員は2号給）とすることを基準として決定している。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

国見町	福島県	国
1人当たり平均支給額（25年度） 1,336千円	1人当たり平均支給額（25年度） 千円	—
(25年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.55月分 1.35月分 (1.4)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.55月分 1.35月分 (1.4)月分 (0.65)月分	(25年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.35月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

(2) 退職手当（26年4月1日現在）

国見町	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 21.62月分 27.025月分 勤続25年 30.82月分 36.57月分 勤続35年 43.7月分 52.44月分 最高限度額 52.44月分 52.44月分 その他の加算措置 (定年前早期退職特例措置(2～20%加算))	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 21.62月分 27.025月分 勤続25年 30.82月分 36.57月分 勤続35年 43.7月分 52.44月分 最高限度額 52.44月分 52.44月分 その他の加算措置 (定年前早期退職特例措置(2～45%加算))
1人当たり平均支給額17,039千円	24,770千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、25年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（26年4月1日現在）

なし

(4) 特殊勤務手当 (26年4月1日現在)

支給実績 (25年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (25年度決算)		0 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (25年度)		0.0 %	
手当の種類 (手当数)		11	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症防疫手当	右記業務に従事した職員	伝染病防疫業務	日額 450円
徴税職員等手当	〃	徴税等の徴収業務 1徴収職員 2徴収職員以外	1月額 6,500円 2日額 300円
山林現場手当	〃	山林の現場業務	日額 450円
精神衛生業務手当	〃	精神障がい者の訪問調査	日額 450円
土木現場業務手当	〃	道路の維持補修及び除雪、地下作業	日額 300円
災害現場業務手当	〃	1災害発生に伴う応急作業又は災害発生防止の非常措置業務 2上記業務で著しく危険な作業	1日額 450円 2日額 900円
用地交渉業務手当	〃	公共用地の交渉の業務	日額 450円
死体取扱業務手当	〃	身元不明等の死体取扱業務	日額 5,000円
国土調査現場業務手当	〃	国土調査に係る現場作業	日額 450円
衛生業務従事手当	〃	1畜犬登録、犬猫等死骸処理 2ニホンカモシカ死骸処理	1日額 300円 2日額 450円
派遣職員手当	〃	他の地方公共団体及び公益法人等への派遣	月額 6,500円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (25年度決算)	46,350 千円
職員1人当たり平均支給年額 (25年度決算)	594 千円
支給実績 (24年度決算)	36,394 千円
職員1人当たり平均支給年額 (24年度決算)	479 千円

(6) その他の手当 (26年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (25年度決算)
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円 配偶者以外の扶養親族 6,500円 配偶者のいない職員の扶養親族1人まで 11,000円 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき 5,000円加算 	同じ		千円 11,475	円 204,911
住居手当	(借家・借間) 職員が、自ら居住する住宅を借り受け、月額9,500円を超える家賃を支払っている場合 <ul style="list-style-type: none"> 20,500円以下 家賃の額-9,500円 20,500円を超える ①(家賃の額-20,500円)×1/2+11,000円 ②家賃の額-20,500円の1/2が16,000円を超えるときは16,000円+11,000円 	異なる	国においては、月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給	千円 7,813	円 325,554
通勤手当	(支給要件) 通勤のため交通機関等を利用しその運賃等を負担することを常例とする職員に支給 (ただ	異なる	国においては、交通機関等利用者の限度額55,000円。また	千円	円

	し、徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2km以上の職員に限る) (支給額) ・交通機関等利用者 運賃相当額。ただし、運賃が61,000円を超える場合、超える額の1/2を加算 ・自動車等使用者 距離に応じて2,400円～47,700円		、自動車等使用者の 距離区分・支給額が異なる。距離に応じて2,000円～24,500円	5,642	92,486
単身赴任手当	官署を異にする異動又は在勤する官署の移転に伴い、転居し、やむを得ない事情により同居していた配偶者と別居し、単身で生活することを状況とし、距離制限(60km)を満たす職員 (支給額) 月額23,000円 距離に応じた加算額6,000円～45,000円	同じ		千円 —	円 —
宿日直手当	宿直又は日直勤務に従事した場合に支給 (支給額) 勤務1回につき5,300円。 3時間未満の場合は1,350円	異なる	国においては、一般の宿日直勤務1回につき4,200円。勤務時間が5時間未満の場合、宿日直手当の額の50/100	千円 1,601	円 72,791
休日給	祝日及び年末年始等の休日において、正規の勤務時間中に勤務することを命じられた職員に支給 (支給額) 勤務した時間に対し、勤務時間1時間あたりの給与額に125/100～150/100の割合を乗じた額	同じ		千円 —	円 —
夜勤手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日午前5時までの間に勤務下職員に支給 (支給額) 勤務した全時間に対して勤務時間1時間あたりの給与額の25/100の額	同じ		千円 —	円 —
管理職手当	管理職又は監督の地位にある職員のうち規則で指定する職にある職員に支給 (支給額) 給料月額25/100以内で職に応じた額			千円 6,758	円 519,869
管理職員特別勤務手当	管理職員が臨時又は緊急の必要等により週休日又は休日等に一定時間以上やむを得ず勤務した場合に支給 (支給額) 勤務1回につき課長の職にある職員6,000円			千円 171	円 13,154

6 特別職の報酬等の状況(26年4月1日現在)

区 分		給 料	月 額 等
給 料	町 長	757,795 円 (761,000 円)	(参考) 類似団体における最高/最低額 826,500 円 / 410,000 円
	副 町 長	604,960 円 (608,000 円)	630,000 円 / 508,000 円
報 酬	議 長	304,200 円 (338,000 円)	330,000 円 / 200,000 円
	副 議 長	236,220 円 (254,000 円)	284,000 円 / 164,000 円
	議 員	216,600 円 (228,000 円)	270,000 円 / 145,100 円

期末手当	町 長 副 町 長	(25年度支給割合) 2.95 月分 (6月期 1.4月 12月期 1.55月)
	議 長 副 議 長 議 員	(25年度支給割合) 2.95 月分 (6月期 1.4月、12月期 1.55月)
退職手当	町 長 副 町 長	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期) 給料月額×在職月数×支給率(48/100) 17,459,597円 任期毎 給料月額×在職月数×支給率(29/100) 8,421,043円 任期毎
	備 考	

- (注)1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

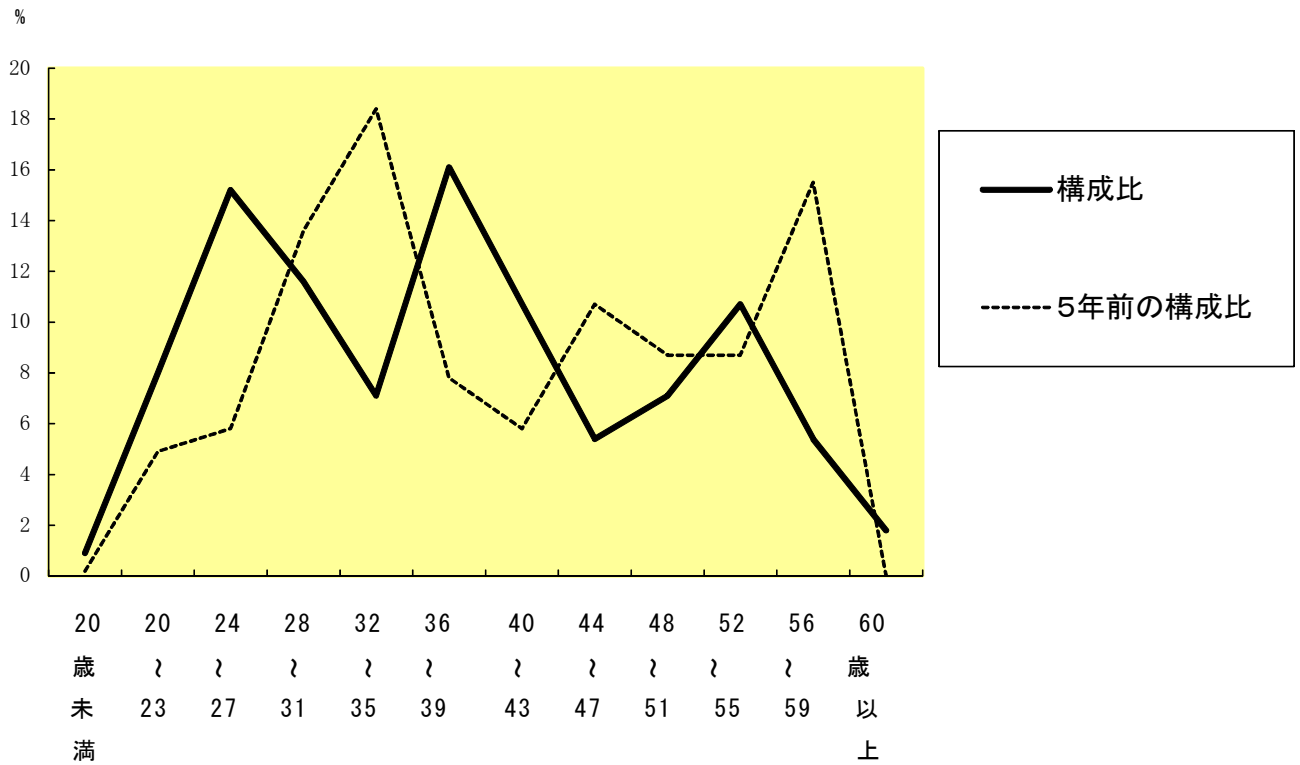
(各年4月1日現在)

部 門	区 分		職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			平成26年	平成25年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	0	企画部門に係を新設したことによる増 職員が急遽退職したことに伴う減 商工観光拠点整備に向けた体制充実のための増 交流の場建設等のため業務量増による増 <参考> 人口1万人当たり職員数 78.57 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 120.72 人)
		総 務	27	24	3	
		税 務	9	9	0	
		民 生	12	12	0	
		衛 生	9	8	1	
		農 林 水 産	7	7	0	
商 工		3	2	1		
	土 木	8	6	2		
	計	77	70	7		
	教 育 部 門	21	21	0	児童数の増による業務量の増	
	消 防 部 門	0	0	0		
	小 計	98	91	7	<参考> 人口1万人当たり職員数 100.00 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 99.12 人)	
公 会 営 計 企 業 部 門 等	水 道	4	5	△1	事務の統配合縮小に伴う減	
	下 水 道	2	2	0		
	そ の 他	8	8	0		
	小 計	14	15	△1		
合 計		112	106	6	<参考> 人口1万人当たり職員数 114.29 人	
		[121]	[121]	[0]		

- (注)1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（26年4月1日現在）

(例)



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳以上	計
職員数	1人	9人	17人	13人	8人	18人	12人	6人	8人	12人	6人	2人	112人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	21年	22年	23年	24年	25年	26年	過去5年間の増減数
一般行政	68	68	70	68	70	77	9 (14.7%)
教育	17	19	20	19	21	21	3 (△17.6%)
消防	0	0	0	0	0	0	0 (0%)
普通会計計	85	87	90	87	91	98	12 (14.1%)
公営企業等会計計	16	15	16	15	15	14	△2 (12.5%)
総合計	101	102	106	102	106	112	10 (9.9%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 25年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
25年度	239,820	19,252	22,124	9.2	10.6

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類 似市町村平 均一人当た りの給与額
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
25年度	5	14,670	1,610	5,554	22,124	4,425	6,123

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、26年3月31日現在の人数である。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (26年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
国見町	39.5歳	309,042円	333,617円
市町村平均	45.0歳	342,822円	509,358円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

国 見 町	全国市町村平均
1人当たり平均支給額 (25年度) 1,043 千円	1人当たり平均支給額 (25年度) 1,456 千円
(25年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.4) 月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65) 月分	(25年度国見町一般行政職) 期末手当 2.55 月分 (1.4) 月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~15%	国見町一般行政職 (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~15%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（26年4月1日現在）

国 見 町			国（一般行政職・団体平均等）		
（支給率）	自己都合	勸奨・定年	（支給率）	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分	勤続20年	21.62月分	27.025月分
勤続25年	30.82月分	36.57月分	勤続25年	30.82月分	36.57月分
勤続35年	43.7月分	52.44月分	勤続35年	43.7月分	52.44月分
最高限度額	52.44月分	52.44月分	最高限度額	52.44月分	52.44月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置（2～20%加算）			定年前早期退職特例措置（2～20%加算）		
1人当たり平均支給額	0千円	0千円	※全国市町村平均1人当たり平均支給額	13,934千円	

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、25年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当 なし

エ 特殊勤務手当（26年4月1日現在）

支給実績（25年度決算）		0千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）		0円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（25年度）		0.0%	
手当の種類（手当数）		1	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
水道企業職員特殊勤務手当	水道業務に従事した職員	水道業務	月額4,000円

※平成20年4月1日から当分の間支給しないこととしています。

オ 時間外勤務手当

支給実績（25年度決算）	874千円
職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）	218千円
支給実績（24年度決算）	646千円
職員1人当たり平均支給年額（24年度決算）	129千円

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（平成25年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績（25年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（25年度決算）
扶養手当	（一般行政職に同じ）	同じ		千円 645	円 322,500
住居手当	（一般行政職に同じ）	同じ		千円 —	円 —
通勤手当	（一般行政職に同じ）	同じ		千円 134	円 33,500
単身赴任手当	（一般行政職に同じ）	同じ		千円 —	円 —
宿日直手当	（一般行政職に同じ）	同じ		千円	円
休日給	（一般行政職に同じ）	同じ		千円 —	円 —

夜勤手当	(一般行政職に同じ)	同じ		千円 —	円 —
管理職手当	(一般行政職に同じ)	同じ		千円 247	円 247,158
管理職員特別勤務 手当	(一般行政職に同じ)	同じ		千円 —	円 —